



# 私の十転八起



大阪府経営合理化協会会報「合理化」  
春号 No.531 「私の十転八起」より転載

## 貿易会社50年の歩みを振り返って

第一物産商事(株) 代表取締役社長 志水 健一  
(JEC)

私が27歳の時に、大阪市西区の靱公園  
近くの木造2階建ての2階に2坪ほどの部  
屋を借りて会社を立ち上げスタートしまし  
た。この日は丁度アメリカ独立記念日の7  
月4日でした。

タイプライター・机・椅子などは中古品  
を買い、必要最小限の備品でスタートした  
ものの、先行き不透明で試行錯誤、無我夢  
中でやるしかないとの強い気持ちを持ち続  
ける事を心掛けて、国内の仕入先様や海外  
のお客様とコンタクトを取り続けておりま  
した。

そして半年後にやっと輸出が軌道に乗り  
始めました。タイ国に工業用ゴム製品の初  
輸出契約が出来たこと、又、香港の電動工  
具の代理店の社長から“お前の飯代くらい  
作ってやるよ”と言われて商品の継続輸出  
契約が出来ました。駆け出しの私には言葉  
に表せない程嬉しかった事が今でも思い起  
こされます。

その後、為替の変動相場制移行から円高  
が進行し、又、メーカーの直接輸出政策等  
でこれまでの様な中小商社の役割の見直し  
の必要性を感じ始めた時に建設ブームが到  
来し、海外でもインフラ整備が活発になり  
新車や中古の建機・発電機・コンプレッ  
サー等の輸出で飛躍的に売り上げ拡大を達  
成出来て、西区新町に自社ビルを新築致し

ました。事業スタート時からの長年の夢を  
達成できた瞬間でありました。そして今年  
で創立50周年を迎えます。

これもこれまで各方面のお取引様のご支  
援の賜物と感謝に堪えません。

これまでの海外訪問国は50カ国、海外  
訪問都市は70を超えました。世界各国の  
いろいろな人々との出会いがあり、商売に  
結び付ける事も出来ました。

そんな中で人と人との直接のふれあいの  
大切さ、如何に商売と言えどもその中には  
思いやりや温かさがある事をしみじみと味  
わってきましたが、昨今はメールやイン  
ターネットでも何でも処理されてしまう時代  
になって来て、人とのふれあいが少なく  
なっており、あの頃の時代の懐かしさを思  
い浮かべています。

今年で74才を迎えますが、常に“ACTION  
MAKES SOMETHING”をモットーにし  
ています。今年3月に新たな事業として  
“KID'S WEAR”の店(FTC SELECTION)  
をビル1階に開店しました。これまでとは  
全く違った分野ですが、関西近辺では販売  
されていないブランド品を中心に取り扱い  
ながら新たな挑戦に向かっております。お  
近くをお通りの時は是非お立ち寄り下さい。

会員皆様の会社のご発展とご健勝をお祈  
り致します。